

Visual Identity System Guideline

健康経営銘柄ロゴ VI管理マニュアル

Ver.2.0 2024年2月版

はじめに

従業員の健康に関する取り組みを評価する「経営理念・方針」、「組織・体制」、
「制度・施策実行」、「評価・改善」、「法令遵守・リスクマネジメント」の
5つの評価軸と企業の成長する様を組み合わせ
視覚的に伝わるシンボルロゴに加え、使用年度を表記しています。



INDEX

1. シンボルロゴの定義
2. シンボルロゴの保護区域の指定
- 3-1. シンボルロゴの最小使用サイズ
- 3-2. シンボルロゴの最小使用サイズ
- 4-1. シンボルロゴのブランドカラーシステム
- 4-2. シンボルロゴのブランドカラーシステム
- 5-1. シンボルロゴの使用禁止例
- 5-2. シンボルロゴの使用禁止例

このマニュアル及びロゴデータの使用にあたり、以下の点にご注意ください。

- 本マニュアルは内部資料等、簡単な印刷物を制作するためのものです。
広告、出版物等に本ロゴを使用する場合は
「経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課」まで必ずご連絡ください。
- 収納しているデータはMac OSでもWindowsでも使用できます。
- 本マニュアルの一部または全部を発行者の事前承諾なしに改編することを禁じます。
- 本マニュアルに記載された内容は予告なしに変更されることがあります。
- 禁則事項:以下の場合にはロゴマークを使用することはできません。
 - 主として、特定の政治、思想、宗教、募金等の活動の目的に利用されるおそれがある場合
 - 健康経営銘柄の正しい理解の妨げとなるおそれがある場合
 - 法令や公序良俗に反するおそれがある場合
 - 不当利益をあげるために利用されるおそれがある場合
 - 医学的根拠に乏しい施策や活動を推奨するものとして使用されるおそれがある場合
 - その他、健康経営銘柄のイメージを損ねる可能性がある場合

健康経営銘柄ロゴVI管理マニュアル

改訂月：2024年2月
発行月：2015年4月
発行：経済産業省
制作：経済産業省

シンボルロゴの定義

1

「シンボルロゴ」は以下の2種類のみ。

シンボルマークとロゴタイプとの組みになったものが基本形であり、一部の例外を除いては、それぞれを単体で使用することはありません。

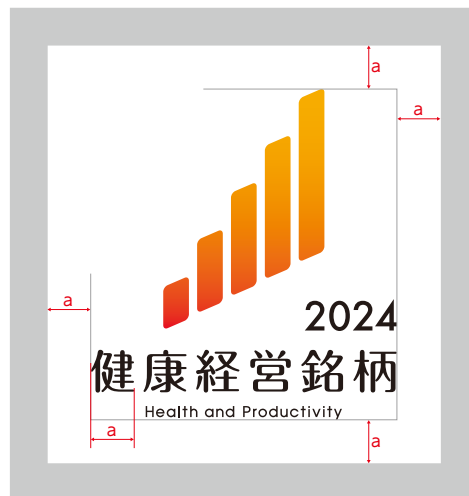


【保護区域の指定】

保護区域の指定は、「シンボルロゴ」が象徴的かつ明瞭に見えるよう、
周囲に最小限必要な余白を設けるための規定です。

「シンボルロゴ」の周辺に文字や図形などをレイアウトする場合は
指定された最小余白以上（「シンボルロゴ(タテ組)」はa以上、「シンボルロゴ(ヨコ組)」はb以上）を必ず取ってください。

【保護区域の指定 タテ組使用の場合】



【保護区域の指定 ヨコ組使用の場合】



【最小使用サイズ】

「シンボルロゴ」の視認性を維持するために、
最小使用サイズを設定しています。



このサイズ以下での使用の場合は次項の「シンボルロゴ」を使用してください。

シンボルロゴの最小使用サイズ

3-2

【最小使用サイズ】

「シンボルロゴ」の視認性を維持するために、
サイズにより「シンボルロゴ」を使い分けてください。

【以下のサイズでは英文の視認性を維持するため、以下の「シンボルロゴ」を使用してください】

●40mm未満～22mm以上

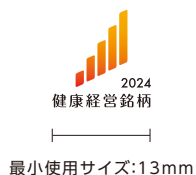


●73mm未満～40mm以上



【以下のサイズでは英文を外した、以下の「シンボルロゴ」を使用してください】

●22mm未満～13mm以上



●40mm未満～25mm以上



【ブランドカラー】

ブランドカラーは「健康経営銘柄」の色彩的な象徴であり、使用にあたっては、形式ごとに定められた規定を遵守してください。
更には、再現された色の補正によって、色再現の誤差を最小限にとどめてください。

【フルカラー タテ組ヨコ組】



グラデーション：
M100,Y90 / M40,Y100
グラデーションスライダー位置：
70%

プロセスカラー：
K100

【モノクロ タテ組ヨコ組】



グラデーション：
K85 / K45
グラデーションスライダー位置：
70%

プロセスカラー：
K100

【ブランドカラー】

ブランドカラーは「健康経営銘柄」の色彩的な象徴であり、使用にあたっては、形式ごとに定められた規定を遵守してください。

更には、再現された色の補正によって、色再現の誤差を最小限にとどめてください。

【単色 タテ組ヨコ組】



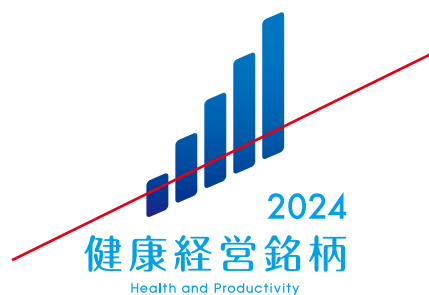
プロセスカラー：
K100

【ネガティブ表示 タテ組ヨコ組】



「シンボルロゴ」の誤った使用例を示しています。

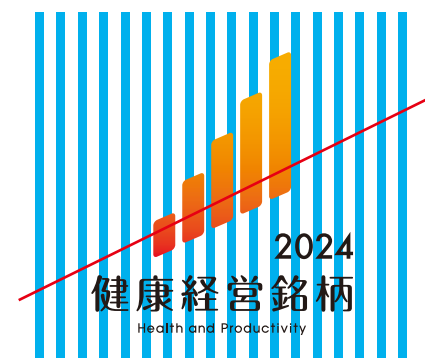
統一したイメージを損なわず、一貫したブランドコミュニケーション展開を行なうためにも、
ロゴの誤用は避けてください。



カラーシステム以外の色への変更



比率の変更



パターンや文字の上に表示



他の要素を組み合わせた表示①



他の要素を組み合わせた表示②



他の要素を組み合わせた表示③

シンボルロゴの使用禁止例

5-2

「シンボルロゴ」の誤った使用例を示しています。

統一したイメージを損なわず、一貫したブランドコミュニケーション展開を行なうためにも、
ロゴの誤用は避けてください。



規定以外の組み合わせ



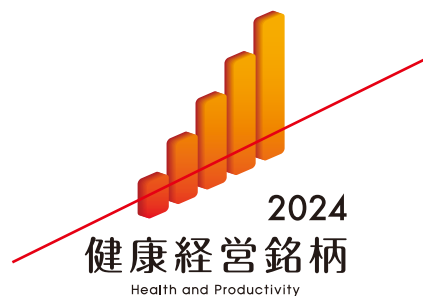
ロゴタイプの変更



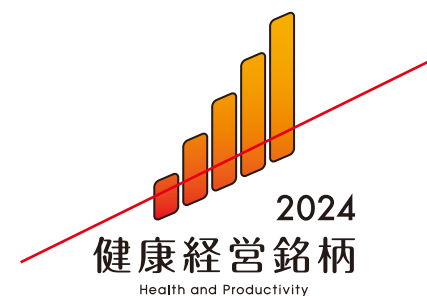
類似コピーや商品名との組み合わせ



影を付ける



3D風加工



ふちどり